

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 116 号

## Health and Productivity Management in Hospital Organizations and Work Engagement of Nurses

(病院組織における健康経営と看護師のワーク・エンゲイジメントに関する研究)

新井 由美 (あらい ゆみ)

博士 (スポーツ健康科学)

### 論文審査結果の要旨

#### 【研究目的の特徴・独創性・論理性】

働き方改革が推進される現代、病院組織においては、医療スタッフが仕事に対するポジティブな感情を持ち、健康で安心して働くことのできる職場環境づくりの実現が求められている。このような課題に対して、病院組織における健康経営の取組みと看護職(正規雇用)のワーク・エンゲイジメントの向上に及ぼす効果を明らかにした点に本研究の独創性がある。国内外の取組みや国際誌を中心とした先行研究のレビューを踏まえて明確なリサーチクエスチョンが設定されており、研究の意義が十分に示されている。

#### 【研究方法の妥当性】

日本における病院に勤務する看護職(保健師・助産師・看護師)を対象に、ウェブアンケート調査(全国を対象とした横断調査)を実施しており、厚生労働省の統計に基づく看護職の年齢構成割合に対して適切なサンプル数が確保されている。Web調査のデータの信頼性を向上させるため、調査会社の対策が効果的に講じられていることを確認できている。研究デザインおよび倫理的配慮についても明確に記述されており、妥当かつ適切に実施されている。

#### 【結果・知見の新しさ】

病院組織の健康経営への取組みと看護職のワーク・エンゲイジメントの向上に直接または間接的な影響を及ぼすことが推定される要因を調整変数(交絡要因)とした二項ロジスティック回帰分析をおこなった。その結果、病院の組織的健康増進活動の取り組みは、看護師のワーク・エンゲイジメントとの関係にポジティブな影響を与えていることが明らかにされ新しい知見が示された。また、これらの結果はわかりやすく適切に図表に示されていた。

#### 【考察および結論の妥当性】

先行研究の結果を用いながら本研究の新しい知見を述べ、丁寧かつ妥当な考察がなされている。

結果および考察を踏まえ、妥当な結論を創出している。さらに、アンケートや研究デザインに基づく本研究の限界や今後の課題についても適切に述べられている。

### 【研究の当該分野における位置づけ】

本研究は、病院組織における健康・生産性マネジメントへの取り組みが看護師のワーク・エンゲイジメントにポジティブな影響を与える可能性を示しており、離職による低定着率の低さに喘ぐ本邦における医療・看護現場の問題解決に向けて、健康経営への取り組みの重要性といった啓発的な視座を提供する価値ある調査と位置づけることができる。

### 【質疑に対する応答の適切性】

質問に対する応答は、研究結果と先行研究等による裏付けを明示しながら明瞭であった。コメントや指摘、今後の課題等に対しても真摯に受け止め、より研究を発展させようという意思が十分に見られた。

### 【論文審査の結果】

病院組織の健康経営の取り組みにおける健康増進活動が看護師のワーク・エンゲイジメントに及ぼす影響(効果)を横断的調査から明らかにした本研究は、スポーツ健康科学分野における新たな学術的知見を提供するものである。病院組織における健康経営の更なる推進だけでなく、看護職の就業継続意向に寄与する新たなエビデンスを提供している。

以上の理由から、博士（スポーツ健康科学）の学位を与えるに十分な資格を有していると判断する。